

第 15 回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 7 年 1 月 31 日 (金曜)		午後 1 時 30 分 開会		
	休 憩	13:49-50	14:21-35	14:59-15:10	15:41-42
	午後 3 時 50 分 閉会				
	休憩時間：0 時間 27 分		会議時間：1 時間 53 分		
会議場所	3階委員会室				
14:50 出席委員 氏 名	委員長	中村 和宏	委 員	立川 美穂	
	副委員長	中田智恵子	委 員	堀切 忠	
	委 員	鈴木 健充	委 員	小笠原 等	
	委 員	早苗 豊	委 員	伊藤 稔	議 長 梶澤 幸治
説 明 員	教育推進課長	坂口 勝己	生涯学習課長	江崎 健一	
	課長補佐	清末 有 二	スポーツ振興係長	梅森 祐之	
	給食センター長	側瀬 美和			
	教育推進係長	林 宏明			
参 考 人					
欠 席 委 員 氏 名					
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係主査 上田瑞紀			

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

(1) 調査事項

ア 部活動の地域移行について

資料 1

- ・生涯学習課長：事業概要説明。
- ・スポーツ振興係長：資料説明（「1：令和7年度の部活動の地域移行への取組み」「2：持続的な部活動の地域移行に向けた懸念事項」「3：国の動向」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：部活動については、現在も他校との地域連携の実績がある。例えば、隣接自治体ではなく、飛び石的な自治体連携の際に、保護者にとって移動や送迎への負担が大きい。こういったケースに対して、「移動支援」に係る町の対応は検討されているのか？
- ・課長：懸念事項として認識はしているが、町からの具体的な支援はない。
- ・立川委員：渡島地区で先進事例もある。参考にしながら採用に向けて検討していただきたいが、いかがか？
- ・課長：スピード感をもって進めていく分野と、状況変化を見極めながら方向を見出す

分野を区分しながら、適切に取り組んでいきたい。

- ・立川委員：人材確保の事情により、平日と休日の指導者を区分せざるを得ない状況もあると聞くが、実態をどのように捉えているのか？
- ・課長：個々の教員への聞き取りはしていないが、学校単位での日常の意見交換の中では、教職員以外に外部指導者の確保は必須であり、困難性もあるが念頭に置いていかなければならないと考えている。
- ・中田委員：管内自治体で広域的な部活動の機能は期待できるのか？
- ・課長：種目（アイスホッケー等）によっては、すでに機能している実例もある。ただし、実態は近隣（隣接）自治体間の連携を第一に考え、単一自治体で成立しない部活動機能を継続することが優先となっている。
- ・中田委員：国や道の財政支援制度はあるのか？
- ・課長：実証事業に係る取組みについては、支援制度があることから、町としても有効に活用していく考えである。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「ア」の調査を終了する。

イ 令和7年度教育推進課の所管事業について

【フッ化物洗口の導入について】 資料 2-1

- ・教育推進課長：事業概要説明
- ・課長補佐：資料説明（「1：事業」「2：フッ化物洗口とは」「3：実施方法」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：保育所・幼稚園では10年近く前から実施されている事業のため、保護者にとっては定着していることを認める。しかしながら、小学生に対して希望しない児童に水道水で対応することは教育の基本姿勢にそぐわないのではないか。
- ・課長：他自治体の事例も参酌しながら、児童間の差別化を生じないように対応しようとするものである。
- ・立川委員：保育所・幼稚園の現場では理解できる。しかしながら、小学校においては、「他を認める教育」を実践すべきであると考えます。国等の指針に基づく対策か？
- ・課長：国等からの指針ではなく、本町独自の考え方として、小学校での実施が初年度であることから、まずは他自治体の事例を踏まえて実施したい。なお、今後に向けて手法については、検討していきたい。
- ・中田委員：調剤薬局の薬剤師が来校して実施するのか？
- ・課長：実施は担当教員である。なお、実施時期は登校後や放課後など今後の検討事項である。
- ・中田委員：10分程度とはいえ、教員にとっては不安と負担も想定できる。教員を対象にする説明会は予定しているのか？
- ・課長：教育委員会からは学校長に説明し、各教員に対しては各学校長から説明する流れである。
- ・中田委員：新年度から町内全小学校で実施するのか？

- ・課長：そのとおりである。
- ・鈴木委員：週に1回、また、食事の後ではなく、登校後もしくは放課後で効果は期待できるのか？
- ・課長：保育所・幼稚園は週5回実施しており、効果を裏付けるデータが存在する。今回、小学校で実施しようとする手法についても、週5回と同様の効果が得られるデータはある。
- ・堀切委員：本町における「う歯率」がR5から増加している要因は？
- ・課長：分析しきれていない。
- ・堀切委員：フッ化物洗口事業のみではなく、虫歯をトータル的に減らす策も重要ではないか？
- ・課長：まずは学校現場で実施できる事業として、取り組んでいきたい。
- ・堀切委員：教職員への説明について、改めて考え方を伺う。
- ・課長：各学校長から教職員に対して適宜説明している。なお、今後は歯科衛生士からの説明等も考えている。
- ・立川委員：学校ボランティア等の活用も今後の事業に検討してはいかがか？
- ・課長：初めての取組みということもあり、当該事業の実施に対して不安を抱える教職員も想定されることから、負担を軽減する対応については、継続して検討していきたい。
- ・早苗委員：これまでの間、様々な課題が挙げられている。仮に現場での混乱が生じた際には個々の学校だけではなく、教育委員会全体として対応する姿勢と認識して良いか？
- ・課長：可能な限り対応したい。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「イ」の調査を終了する。

【指導主事の配置について】 資料 2-2

- ・教育推進課長：事業概要説明
- ・課長補佐：資料説明（「1：課題」「2：指導主事とは」「3：地域コーディネーターとは」「4：役割」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：具体的な動きはすでに進んでいるのか？
- ・課長：現在進行形である。内諾済である。
- ・早苗委員：道職員が派遣されるということか？町が人件費を負担するものか？
- ・課長：割愛人事となり、道職員を退職し町職員の身分となるものである。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「ウ」の調査を終了する。

【奨学金返還支援（若者定住化促進）事業について】 資料 2-3

- ・教育推進課長：事業概要説明
- ・教育推進係長：資料説明（「1：事業概要」「2：対象者」「3：返還支援の額」「4：償還免除と返還支援の違い」「5：償還方法の変更」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：対象者数の想定は？
- ・教育推進係長：令和4年度4人、5年度7人、6年度6人が償還免除。これに期待値を加えた数を対象としたい。
- ・堀切委員：公務員として就職する者への公平性を担保するなら、特別交付税の対象とならなくても適用すべきのような検討はなかったのか？
- ・課長：町の財政事情を鑑みて、あくまでも特別交付税の対象のみとした。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「エ」の調査を終了する。

【児童生徒支援事業について】 資料 2-4

- ・教育推進課長：事業概要説明
- ・課長補佐：資料説明（「1：スクールライフアドバイザー複数配置」「2：メタバースの導入」「3：医療的ケア（看護師配置）」「4：リタリコ教育ソフト導入」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：スクールライフアドバイザー複数配置により、芽室中学校以外にも常駐できる日が増えるという認識で良いか？
- ・課長補佐：常駐できる学校を増やすことにつながるものである。現行1名を2名にしようとするもの。
- ・立川委員：医療的ケアについて、看護師採用は何名か？また身分は？
- ・課長補佐：芽室小学校に3名、西中学校に1名の生徒。看護師は芽室小学校に配置する。委託事業により確保する。
- ・立川委員：リタリコ教育ソフトについて、町として直接確認済みか？
- ・課長補佐：今年度9月から試行し有効と判断したことから、採用しようとするものである。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「オ」の調査を終了する。

【GIGA スクール構想環境整備事業について】 資料 2-5

- ・教育推進課長：事業概要説明
- ・教育推進係長：資料説明（「1：事業概要」「2：事業スキーム」「3：端末整備計画」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・中田委員：更新等にあたり、データ廃棄の方法は？
- ・課長：タブレットには個人情報を残さない前提。処分（廃棄）は専門業者。
- ・立川委員：家庭内における通信環境がない際の対応は、継続か？

- ・課長：お見込みのとおり。
- ・早苗委員：更新時に無償譲渡はしないのか？
- ・課長：校内及び役場内で利活用することを最優先。保護者譲渡は今後検討する。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「カ」の調査を終了する。

【学校給食用食材購入費について】 資料 2-6

- ・教育推進課長：事業概要説明
- ・給食センター長：資料説明（「1：学校給食費保護者負担金」「2：給食食材購入を取り巻く現状」「3：給食食材購入価格の状況」「4：食材購入費の増額の試算」「5：令和7年度の給食食材購入費（学校給食費保護者負担金）について」「6：今後の対応について」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・立川委員：物価高騰による次年度以降の給食費増に係る町負担の影響額は？
- ・センター長：今年度は約 600 万円の町負担。来年度以降はさらに 800 万円増の見込み。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：以上で、調査事項「キ」の調査を終了する。

- ・委員長：自由討議を行う。最初に調査事項「ア」について、自由討議はないか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：継続調査することとし、調査事項「ア」の自由討議を終了する。

- ・委員長：次に調査事項「イ」について、自由討議はないか？
- ・早苗委員：奨学金返還支援について、これまでの一定年数の経過として、制度自体の条件（貸付条件）が徐々に緩和され、利用数も増加している。一方、貸付金とはいえ、町の財政への影響もあることから、制度自体の今後のあり方について継続調査すべきと考える。
- ・委員長：他にないか？
- ・（意見なし）
- ・委員長：継続調査することとし、調査事項「ア」の自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について
正副一任

(2) その他

- ・委員長：12 月定例会議の振り返りは、委員から提出がなかったので「なし」として

報告する。また、団体との意見交換会の報告については、正副でまとめたので参照いただきたい。

- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	1名	報道関係者	1名	議員	1名	合計	3名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和7年1月31日

厚生文教常任委員会委員長 中村和宏